

(4) ②様式第4号-2 (報告書)

| | |
|-------------|--|
| NITS・教職大学院等 | 実施機関名・連携機関名 実施機関：上越教育大学教職大学院 連携機関：妙高市教育委員会 |
| コラボ研修プログラム | 事業名：【NITS・妙高市教育委員会・上越教育大学教職大学院コラボ研修】 妙高市内の ICT 活用実践の成果を取り入れたオンライン拡散型教員研修 |
| 支援事業報告書 | 研修等名： GIGA スクール 2 年目の ICT 活用～主体的・対話的で深い学びを目指して～ 開催日時： 代表者研修：令和4年11月25日(金)15時15分～16時45分…図1の① ① 教員向け研修(各校で実施)：令和4年12月5日(月)～令和4年12月26日(月)…図1の② 開催場所：妙高市役所(新潟県妙高市栄町5-1) 参加人数(総数)と参加者の属性：(176人) 妙高市教育委員会5人、市内小中特別支援学校教員(情報主任等)12人、大学教員(上越教育大学教職大学院)1人、市内小中特別支援学校教員158人 |

内容：

GIGA スクール構想を推進する中で、ICT 利活用に係る学校間格差や学校内格差を解消するために、教職員の ICT 活用能力の育成が喫緊の課題である。そこで、今年度は妙高市における 1 人 1 台端末の実践事例を共有し、より具体的な活用方法を学ぶ機会を設定した。研修は、オンラインシステムを活用した効率的・効果的な拡散型教員研修会とした。(図 1)

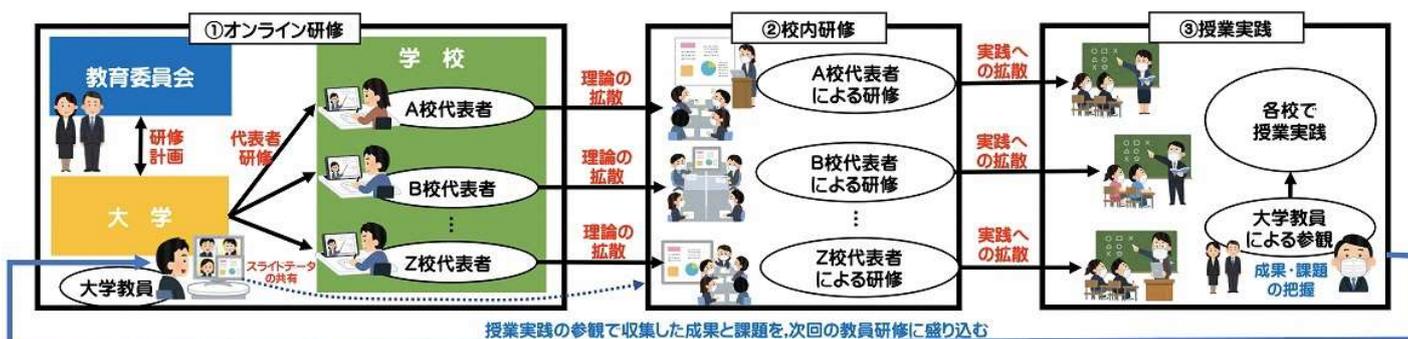


図1 オンラインシステムを活用した拡散型教員プログラム

①オンライン研修

会の冒頭に妙高市教育長が、市内における ICT 利活用の現状と課題、課題解決に向けた方策として今回の研修を実施すること、各校の研修リーダーとしての自負をもって研修を各校で展開してほしいことなどについて講話を行った。

次に、講師の上越教育大学大学院の榊原准教授が「GIGA スクール 2 年目の ICT 活用～主体的・対話的で深い学びを目指して～」と題して講義を行った。今回は、Zoom のブレイクアウトルームを活用し、以下の4点についてグループディスカッションを行った。

- ・「主体的・対話的で深い学び」と ICT 活用では、「令和の日本型学校教育」における学びのイメージと 1 人 1 台タブレット端末の教育機能について理解を深めた後、これまでの実践や実践が難しいことを話し合った。
- ・ロイロノートの基礎的活用と応用では、ロイロノートの特徴や配慮すべき点、思考ツールと共有ノートの活用法について学んだ後に、ロイロノートの効果的な使い方と課題について話し合った。
- ・ICT を用いて深い学びに繋げる学習問題のあり方では、5 つのパターン「ディベート型(立場選択)、Which 型(価値判断)、Why 型(原因究明)、How 型(方法検討)、その他」について学び、共有ノートで出題できる学習問題例を話し合った。
- ・GIGA スクール 2 年目を振り返ってでは、自身や学校全体として明日から取り組みたいことを話し合った。

②校内研修

オンライン研修受講者が、自校の実態に合わせて資料を修正し、校内研修を行った。

③授業実践

校内研修で「その機能、使えそうだ」と思ったことを活用した授業を一般教員が実践し榊原准教授が参観した。

成果：

①オンライン研修実施後のアンケート（12人回答）では、「校内のICT活用の推進に対する意欲が喚起された」「他の参加者の意見や発表を聞き、ICT活用に関する新たな視点が得られた」「校内でICT活用を推進される必要性がわかった」の肯定的評価が100%であった。「共有ノートや思考ツール機能はICTの活用で1番効果を発揮する部分だと感じるので、具体的活用法などを知ることができてよかった」という感想があった。

②校内研修実施後の受講者アンケート（135人回答）では、肯定的評価が「今回のような研修にまた参加したい」92.6%、「校内のICT活用の推進に対する意欲が喚起された」91.9%、「校内でICT活用を推進させる手立てを得ることができた」95.6%であった。受講者からは、「知識や技能を高めるために大変有意義に感じるので、今後も機会をいただきたい」「今日の研修を踏まえ、今後、特別支援学級担任としての有効な活用方法を研修したい」「実際の授業場面を想定しながらICT活用のあり方を考えることができてよかった」「年度初めにこのような意識喚起の研修があるとありがたい」との感想があった。

また、校内研修を行った実施者アンケート（9人回答）では、「研修後の職員の意見が活発だったので、研修担当も充実感を得られた」「自身の理解が深まり、自信がついたように感じた」との感想があった。

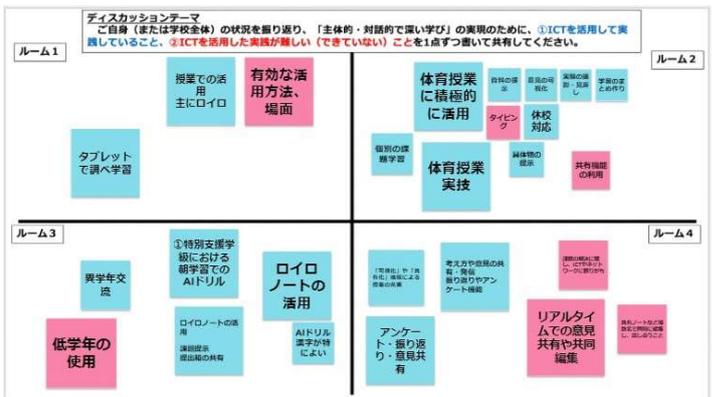
アイデアや工夫したこと：

- ・大学の先進的な知見を生かし、学校のICT活用に係る校内研修リーダーを育成したこと。
- ・研修では、グループディスカッションを随所に取り入れ、参加者が主体的に参加できるようにしたこと。
- ・市内のICT活用の実践例を取り上げ、同僚性を発揮しICT活用に向けた教員の意識を向上したこと。
- ・オンラインシステムを活用することで校外への出張が不要になり、新型コロナウイルス感染症対策や地域特有の自然災害(大雪等)に対応したこと。
- ・教育委員会の研修実施負担を軽減し、出張旅費を大幅に削減したこと。

<写真・図など>



①-1 オンライン研修



①-2 グループディスカッションで活用した Google Jamboard の記録



②校内研修



③授業実践（ロイロノートを活用したプレゼン）
スイス連邦ツェルマット村の中学生とのオンライン交流